

証券コード4651

SANIX

2013年3月期
第1四半期 決算説明会

株式
会社 **サニックス**

2012年 8 月 9 日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

目 次

1. 2013年3月期 第1四半期の概況 P. 1

2. 2013年3月期 業績見通し P. 8

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

2013年3月期 第1四半期の概況

第1四半期 決算概況

当第1四半期については、前期比増収増益

売上高	：	8,822百万円	（前期比増減額	+1,317百万円）
営業利益	：	△115百万円	（前期比増減額	+202百万円）
経常利益	：	△115百万円	（前期比増減額	+209百万円）
当期純利益	：	△170百万円	（前期比増減額	+268百万円）

◆売上高◆

HS事業部門及びES事業部門においては、太陽光発電システム販売が前期比増収となったこと、環境資源開発事業部門においては、主にプラスチック燃料収入、及び売電収入が前期比大幅な増収となったことにより、グループ全体の売上高は、8,822百万円（前期比17.6%増）となった。

◆利益面◆

HS事業部門において、原価率の高い太陽光発電システム販売の販売比率が上昇したことにより、前期比減益となったものの、環境資源開発事業部門においては、前期比大幅な増収効果により、大幅増益となった。その結果、グループ全体の営業損失は、115百万円（前年同期は317百万円の営業損失）となった。

第1四半期 損益の実績と計画差異

	2012/3期		2013/3期					
	第1四半期		第1四半期					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高	7,505	100.0%	8,822	100.0%	117.6%	9,165	96.3%	△ 342
H S 部門	4,463	59.5%	4,501	51.0%	100.9%	5,065	88.9%	△ 563
E S 部門	677	9.0%	723	8.2%	106.8%	730	99.1%	△ 6
環境資源	2,364	31.5%	3,597	40.8%	152.1%	3,370	106.8%	227
売上原価	5,209	69.4%	6,268	71.1%	120.3%	6,202	101.1%	66
売上総利益	2,296	30.6%	2,554	28.9%	111.2%	2,963	86.2%	△ 408
販管費	2,613	34.8%	2,669	30.3%	102.1%	2,835	94.2%	△ 165
営業利益	△ 317	—	△ 115	—	—	128	—	△ 243
経常利益	△ 325	—	△ 115	—	—	123	—	△ 238
当期純利益	△ 439	—	△ 170	—	—	86	—	△ 256

■環境資源開発事業部門は、主力の資源循環型発電事業におけるプラスチック搬入量・売電収入ともに堅調に推移し、計画比増収増益。HS事業部門については、太陽光発電システム販売は概ね計画どおりに進捗しているものの、利益率の高いシロアリ防除施工を含む既存商品販売が計画に及ばなかった。
その結果、グループ全体で売上・利益ともに計画水準を下回る結果となった。

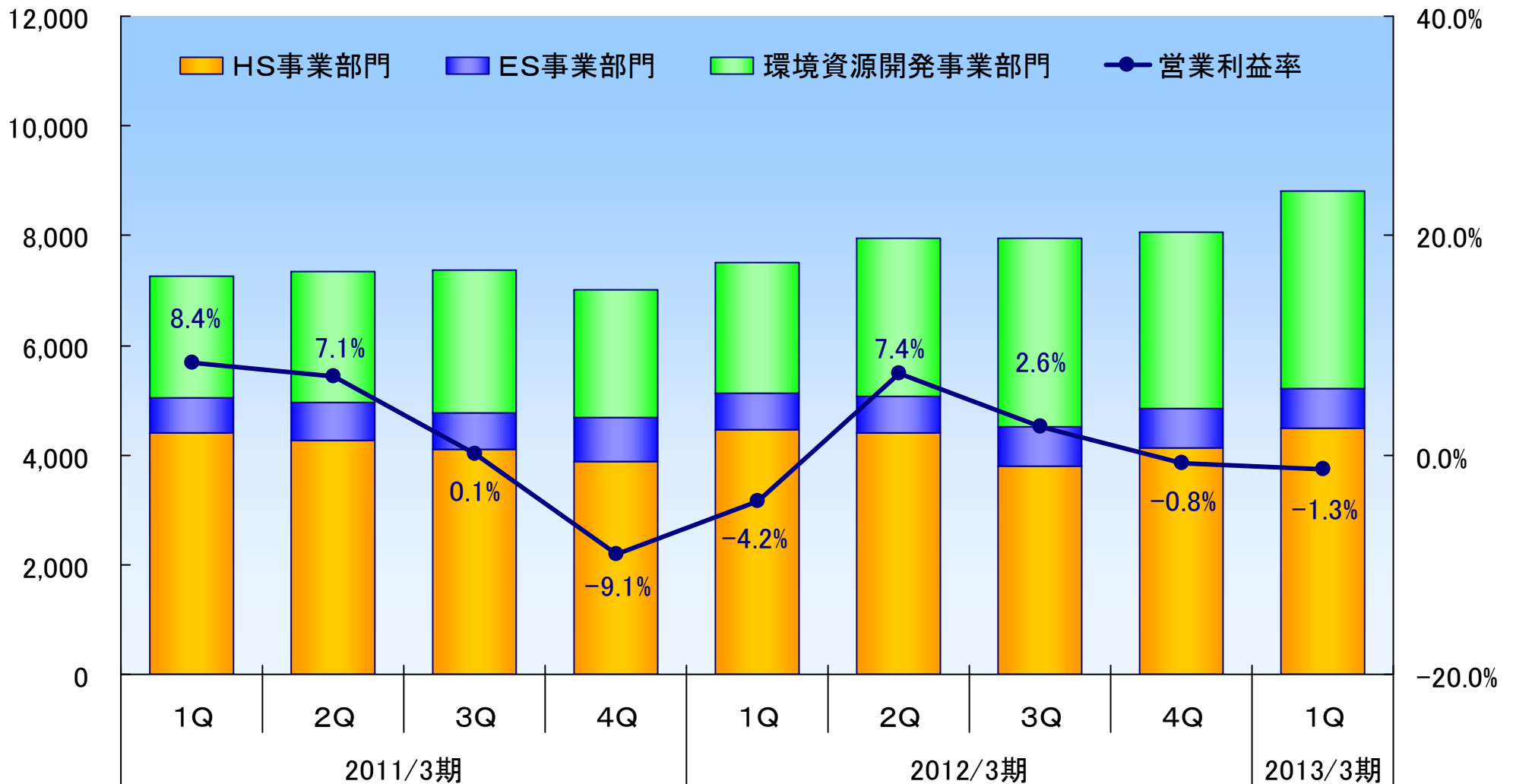
第1四半期 セグメント別損益の実績と計画差異

(単位:百万円)		2012/3期		2013/3期					
		第1四半期		第1四半期					
		実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	計画値	計画比	計画差異
HS 部門	売上高	4,463	101.3%	4,501	100.0%	100.9%	5,065	88.9%	△ 563
	売上総利益	2,185	81.7%	1,472	32.7%	67.4%	1,940	75.9%	△ 467
	販管費	1,417	102.1%	1,351	30.0%	95.3%	1,404	96.2%	△ 52
	営業利益	768	59.8%	121	2.7%	15.8%	536	22.6%	△ 414
ES 部門	売上高	677	104.3%	723	100.0%	106.8%	730	99.1%	△ 6
	売上総利益	214	90.1%	223	31.0%	104.2%	255	87.8%	△ 31
	販管費	226	124.2%	212	29.4%	93.7%	217	97.9%	△ 4
	営業利益	△ 11	—	11	1.6%	—	38	30.2%	△ 26
環境 資源	売上高	2,364	106.5%	3,597	100.0%	152.1%	3,370	106.8%	227
	売上総利益	△ 104	—	857	23.8%	—	768	111.7%	89
	販管費	387	100.9%	563	15.7%	145.5%	573	98.3%	△ 9
	営業利益	△ 491	—	294	8.2%	—	195	151.0%	99
配賦 不能	営業利益	△ 582	—	△ 542	—	—	△ 641	—	98

第1四半期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



第1四半期 HS事業部門

■太陽光発電システム販売は堅調に推移するも、全体では計画比減収減益

シロアリ防除施工を含む既存商品販売については、繁忙期における依頼件数が想定を下回ったため、計画比減収となった。太陽光発電システム販売については、「ユーザー向け直販」において、人員配置を含む販売体制の構築も完了し、積極的な販売を推進するも、既存商品販売の計画比減収をカバーするまでには至らず、計画比減収となった。その結果、営業利益は計画比減益の121百万円となった。

(単位:百万円)	2012/3期				2013/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q				
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高合計	4,463	4,405	3,809	4,129	4,501	100.9%	5,065	88.9%	△ 563
太陽光発電システム	1,400	1,056	1,405	2,581	2,791	199.4%	2,963	94.2%	△ 171
シロアリ防除施工	1,228	1,123	602	544	703	57.3%	918	76.7%	△ 214
床下・天井裏換気システム	573	731	509	279	271	47.3%	373	72.6%	△ 102
基礎補修・家屋補強工事	484	474	433	221	186	38.5%	321	57.9%	△ 135
その他	777	1,019	858	502	548	70.6%	488	112.4%	60
営業利益	768	871	268	308	121	15.8%	536	22.6%	△ 414

第1四半期 ES事業部門

■太陽光発電システム販売、既存商品販売ともに概ね計画どおりに進捗

賃貸・分譲物件管理会社向け法人営業において、既存提携先との関係深耕については概ね順調に推移し、既存商品販売は、計画水準で推移。

集合住宅向け太陽光発電システム販売については販売価格の見直しを行った結果、計画水準の売上実績となったものの、材料費が想定を上回ったため、営業利益は計画比減益となった。

(単位:百万円)	2012/3期				2013/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			計画差異	
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値		計画比
売上高合計	677	663	706	709	723	106.8%	730	99.1%	△ 6
防錆機器取付施工	118	105	113	135	149	125.9%	150	99.8%	△ 0
建物給排水補修施工	210	202	231	211	211	100.4%	230	91.8%	△ 18
建物防水塗装補修施工	99	109	76	98	74	74.7%	80	92.7%	△ 5
太陽光発電システム	93	85	132	92	119	128.3%	126	94.7%	△ 6
その他	155	161	152	171	168	108.6%	144	117.3%	24
営業利益	△ 11	△ 0	11	41	11	—	38	30.2%	△ 26

第1四半期 環境資源開発事業部門

■ 全体的に堅調に推移し、前期比計画比ともに増収増益

当第1四半期の売上高については、全体的に堅調に推移しており、なかでもプラスチック燃料収入については、引き続き搬入量が増加していることに加え、多賀城工場(宮城県)が復旧した効果等もあり、計画比大幅な増収となった。このほか、売電収入についても概ね計画水準で進捗。

なお、計画比増収効果に加え、コスト削減に注力した結果、営業利益も計画比増益となった。

(単位:百万円)	2012/3期				2013/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q				
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	前期比	計画値	計画比	計画差異
売上高合計	2,364	2,878	3,427	3,219	3,597	152.1%	3,370	106.8%	227
プラスチック燃料	1,364	1,548	1,831	1,929	2,137	156.6%	1,929	110.7%	207
有機廃液処理	401	420	407	366	412	102.7%	397	103.9%	15
売電収入	200	601	832	668	752	375.9%	790	95.3%	△ 37
埋立処分等収入	234	159	191	120	151	64.5%	143	105.9%	8
その他	164	147	164	134	144	87.9%	110	130.9%	34
営業利益	△ 491	221	432	125	294	—	195	151.0%	99

SANIX



**2013年3月期
業績見通し**



2013年3月期 通期業績見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

通期連結業績見通し

売上高	：	38,000百万円	（前期：	31,454百万円）
営業利益	：	2,000百万円	（前期：	409百万円）
経常利益	：	1,970百万円	（前期：	347百万円）
当期純利益	：	1,820百万円	（前期：	13百万円）

HS事業部門

当第1四半期における既存商品販売の計画比減収減益を受け、当第2四半期以降も太陽光発電システムの積極的な販売を推進。また当初計画どおり、営業人員を増員する。

ES事業部門

引き続き、賃貸物件管理会社及び分譲物件管理会社への法人営業を推進し、HS事業部門同様、太陽光発電システム販売を推進する。

環境資源開発事業部門

プラスチック燃料収入については搬入量が堅調に推移しているため、引き続き燃料品質の改善を実施することにより、外販拡大及び苫小牧発電所の稼働率向上に取り組む。

苫小牧発電所においては、安定的連続運転による稼働率の向上、及びオペレーションによるコストの削減により、収益改善を見込む。

2013年3月期 通期業績見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

(単位:百万円)		2013/3期							
		第2四半期累計				通期			
		計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額
売上高	18,940	100.0%	122.6%	3,487	38,000	100.0%	120.8%	6,545	
H S 部門	10,590	55.9%	119.4%	1,721	21,375	56.3%	127.2%	4,568	
E S 部門	1,480	7.8%	110.4%	138	2,955	7.7%	107.2%	197	
環境資源	6,870	36.3%	131.0%	1,626	13,670	36.0%	115.0%	1,779	
売上原価	12,691	67.0%	126.1%	2,630	25,035	65.9%	119.1%	4,022	
売上総利益	6,249	33.0%	115.9%	856	12,965	34.1%	124.2%	2,523	
販管費	5,614	29.6%	109.5%	488	10,965	28.9%	109.3%	932	
営業利益	635	3.4%	238.1%	368	2,000	5.3%	488.0%	1,590	
経常利益	615	3.2%	259.3%	377	1,970	5.2%	566.1%	1,622	
当期純利益	540	2.9%	—	540	1,820	4.8%	—	1,806	

2013年3月期 セグメント別損益の見通し

※業績見通しについて、
変更はありません。

(単位:百万円)		2013/3期							
		第2四半期累計期間				通期			
		計画値	売上比	前期比	前期比 増減	計画値	売上比	前期比	前期比 増減
HS 部門	売上高	10,590	100.0%	119.4%	1,721	21,375	100.0%	127.2%	4,568
	売上総利益	4,130	39.0%	92.2%	△ 347	8,430	39.4%	111.4%	861
	販管費	2,819	26.6%	99.3%	△ 18	5,707	26.7%	106.6%	354
	営業利益	1,311	12.4%	80.0%	△ 328	2,723	12.7%	122.8%	506
ES 部門	売上高	1,480	100.0%	110.4%	138	2,955	100.0%	107.2%	197
	売上総利益	505	34.1%	118.2%	77	1,010	34.2%	112.4%	111
	販管費	440	29.7%	100.1%	0	870	29.4%	101.4%	12
	営業利益	65	4.4%	—	77	140	4.7%	341.7%	99
環境 資源	売上高	6,870	100.0%	131.0%	1,626	13,670	100.0%	115.0%	1,779
	売上総利益	1,614	23.5%	330.9%	1,126	3,525	25.8%	178.6%	1,550
	販管費	1,166	17.0%	153.8%	407	2,140	15.7%	126.9%	453
	営業利益	448	6.5%	—	718	1,385	10.1%	481.3%	1,097
配賦 不能	営業利益	△ 1,189	—	—	△ 98	△ 2,248	—	—	△ 112

2013年3月期 HS事業部門見通し

■太陽光発電システム販売

- 中国における材料調達を拡充することにより、材料コスト低減に取り組み、利益率改善を図る。
- 施工の効率化を図り、生産性を高める。
- 販売価格の見直し等を実施し、積極的な販売を推進する。

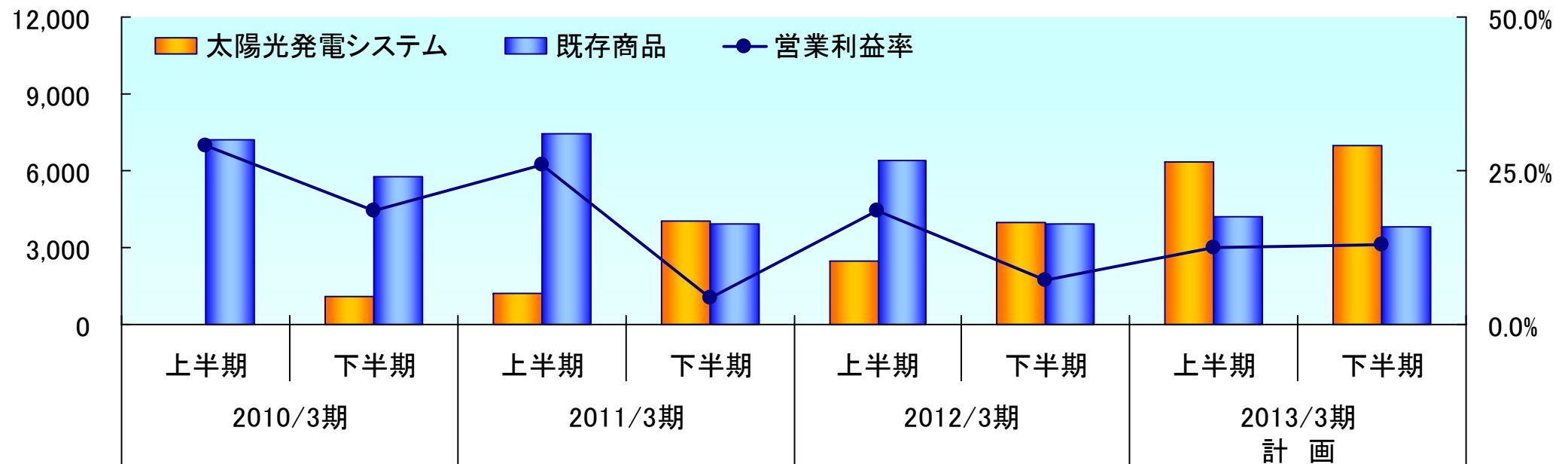
■既存商品販売

- 当第2四半期以降徐々に販売員を増員し、売上高の減少を抑制する。



■売上高・営業利益率の推移

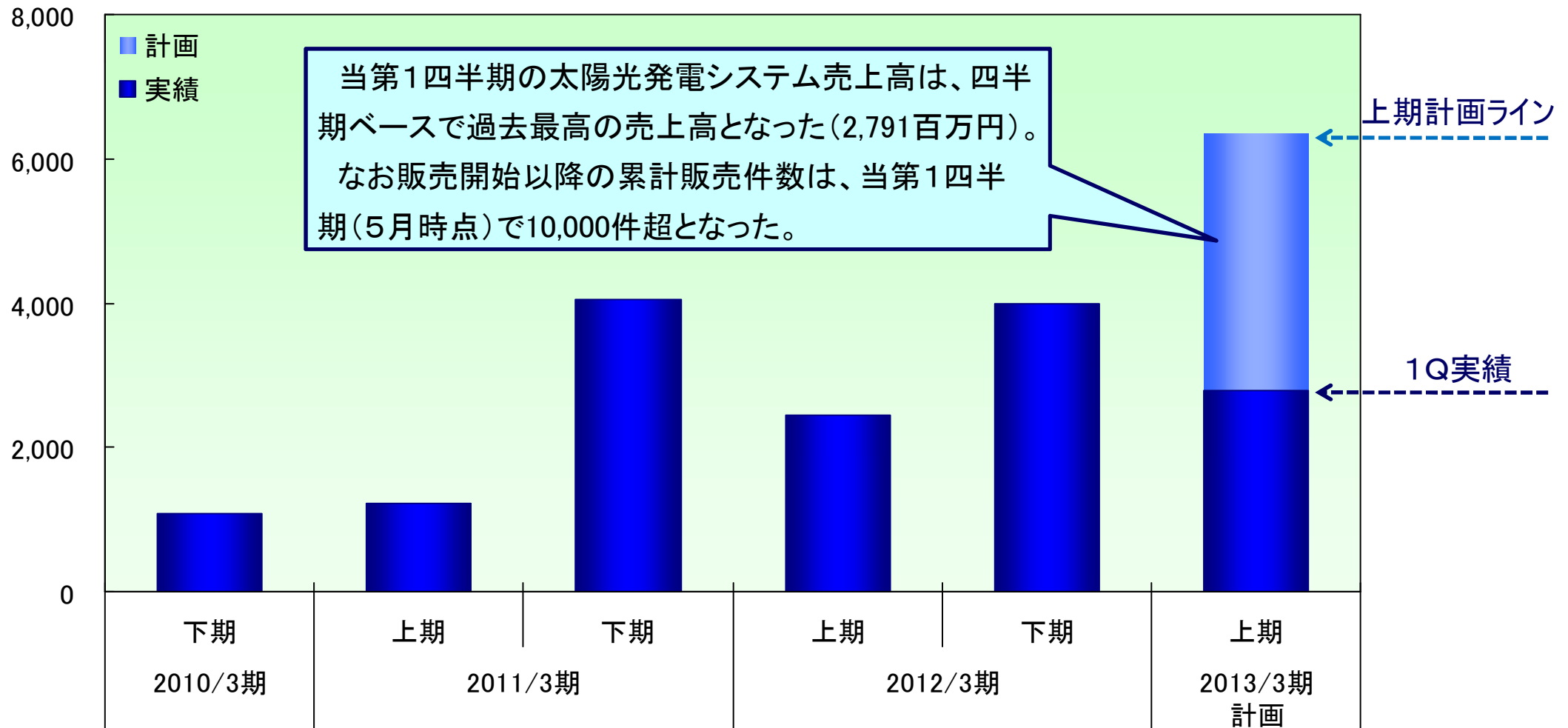
(単位:百万円)



2013年3月期 HS事業部門見通し

■HS事業部門 太陽光発電システム売上高推移

(単位:百万円)



2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

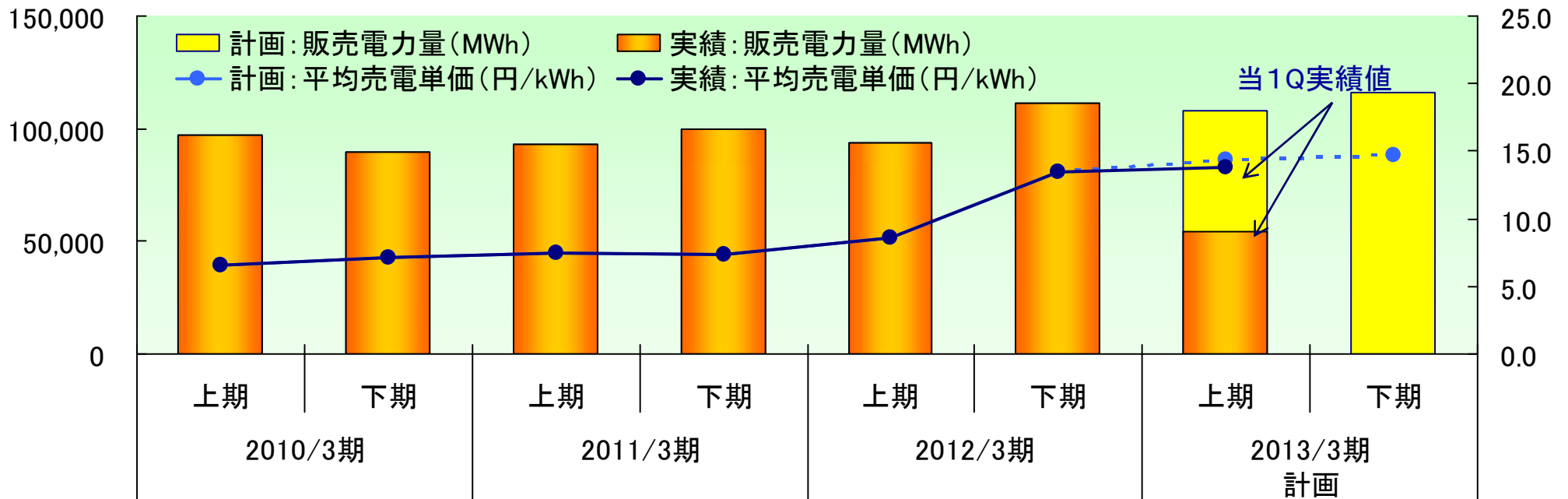
■資源循環型発電事業

- プラスチック燃料収入については、搬入量が堅調に推移(当第1四半期では前年同期比15.0%増)。
- 多賀城工場は2系統とも復旧が完了し、当第2四半期以降更なる搬入量拡大に努める。
- 苫小牧発電所は定期修繕を終え、大きなトラブルなく安定的連続運転を継続し、売電収入も計画水準で推移。



(単位: MWh) ■ 苫小牧発電所(売電収入)の主要数値推移

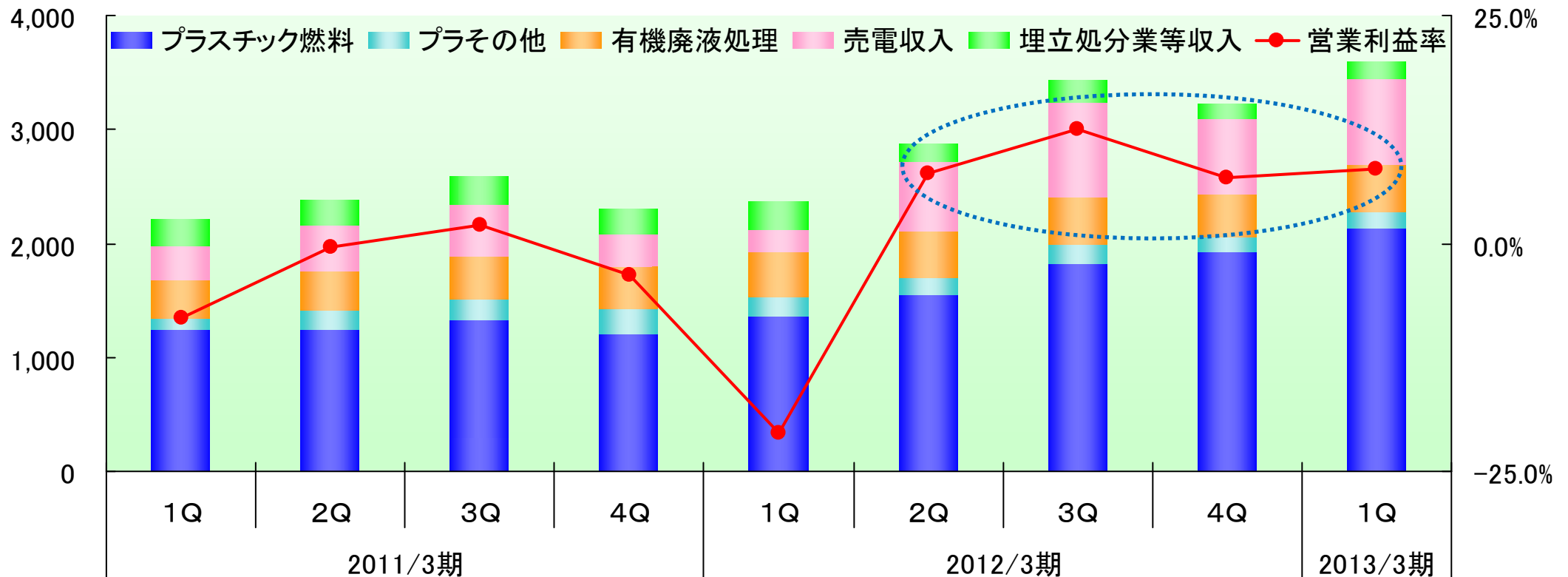
(単位: 円/kWh)



2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)

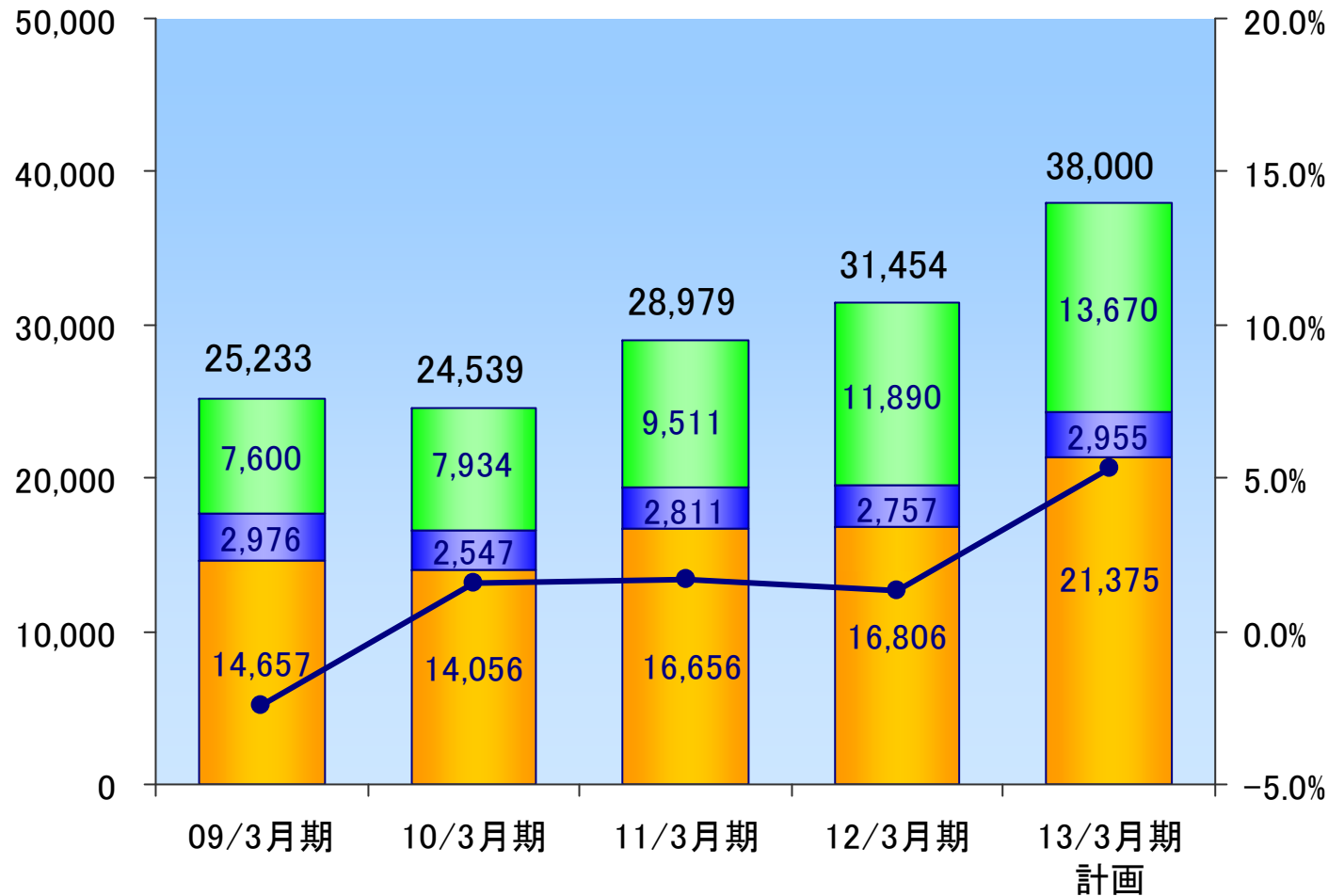


苫小牧発電所においては安定的連続運転を継続し、プラスチック燃料収入については搬入量が堅調に推移していることから、資源循環型発電事業の収益性は改善されており、当第2四半期以降も、引き続き利益体質の維持・強化に努める。

2013年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)

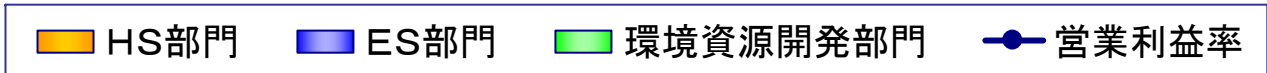


2013年3月期見通し

売上高：38,000百万円

営業利益：2,000百万円

営業利益率：5.3%



産業用太陽光発電システム販売への対応

住宅用太陽光発電システムの販売実績(10,000件以上)を活かし、
産業用太陽光発電システム販売を開始

■再生可能エネルギー特措法による全量買取制度と当社グループによる太陽光発電システム営業展開

	HS・ESにおける住宅用太陽光発電システムの販売	産業用太陽光発電システムの販売
システム容量区分	10kW未満	10kW以上
主となる販売対象	戸建て住宅 集合住宅向け	公共 産業用
買取価格 期間・種別	42円(税込)／kWh 10年間、余剰買取	42円(税込)／kWh 20年間、全量買取
システム 設備区分	低圧受電設備 50kW未満	高圧受電設備 50kW以上

※10kW以上の設備については、余剰買取も可能。10kW未満の設備については、余剰買取に限る。

設備容量が50kW以上の太陽光発電設備は高圧受電設備となり、イニシャルコストが高額になる
うえ、設置に際して各種申請手続きに時間を要するため、住宅向け太陽光発電システム販売のノウ
ハウを活かし、50kW未満の低圧受電設備向け産業用太陽光発電システムを積極的に販売。